

令和3年度 滋賀県高等学校秋季総合体育大会

柔道競技 《プログラム》

期 日 : 令和3年10月28日(木)・10月29日(金)

場 所 : 滋賀県立武道館(大津市)

参加校	男子	9校	66名
	女子	3校	21名

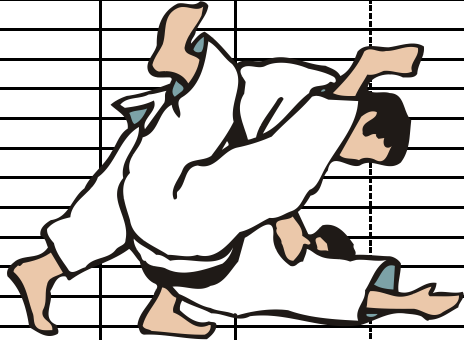


主 催 : 滋賀県教育委員会・滋賀県高等学校体育連盟

主 管 : 滋賀県高等学校体育連盟柔道専門部

秋季大会 栄光の記録 団体試合

	男子				女子			
	1位	2位	3位		1位	2位	3位	
昭和33年	近江 草津							
昭和35年	伊香	高島	長浜農	大津・定				
昭和36年	伊香	近江	瀬田工	八日市				
昭和37年	日野	伊香	高島	長浜北				
昭和38年	日野	甲賀	長商工	瀬田工				
昭和39年	大津商	甲賀	草津	伊香				
昭和40年	伊香	甲賀	長浜北	大津商				
昭和41年	大津商	伊香	守山	瀬田工				
昭和42年	日野	甲賀	膳所	八日市				
昭和43年	伊香	八日市	大津商	長商工				
昭和44年	伊香	膳所	比叡山	瀬田工				
昭和45年	伊香	守山	比叡山	膳所				
昭和46年	高島	伊香	草津	膳所				
昭和47年	守山	伊香	比叡山	能登川				
昭和48年	比叡山	伊香	石山	甲賀				
昭和49年	比叡山	伊香	膳所	能登川				
昭和50年	伊香	比叡山	彦根東	水口				
昭和51年	比叡山	伊香	彦根東	八幡工				
昭和52年	比叡山	伊香	彦根東	彦根工				
昭和53年	比叡山	伊香	彦根東	膳所				
昭和54年	伊香	比叡山	彦根東	膳所				
昭和55年	伊香	比叡山	彦根東	膳所				
昭和56年	比叡山	伊香	彦根東	膳所				
昭和57年	比叡山	伊香	八日市	堅田				
昭和58年	比叡山	伊香	長商工	高島				
昭和59年	比叡山	彦根工	膳所	伊香				
昭和60年	比叡山	膳所	八日市	堅田				
昭和61年	堅田	近江	伊香	膳所				
昭和62年	近江	高島	膳所	堅田				
昭和63年	比叡山	近江	膳所	高島				
平成 元年	近江	比叡山	草津	彦根工	玉川	愛知	水口	石山
平成 2年	比叡山	近江	草津	石山	水口	玉川	高島	伊香
平成 3年	比叡山	近江	玉川	八幡工	草津	伊香	守山	膳所
平成 4年	近江	比叡山	草津	守山	比叡山	草津	高島	石山
平成 5年	近江	草津	比叡山	石山	比叡山	草津	伊香	守山
平成 6年	近江	比叡山	草津	長商工	比叡山	草津	伊香	玉川
平成 7年	近江	草津	比叡山	高島	草津	比叡山	伊香	玉川
平成 8年	比叡山	近江	草津	長商工	伊香	草津	比叡山	近江
平成 9年	近江	伊香	比叡山	草津	伊香	草津	近江	虎姫
平成10年	近江	比叡山	草津	高島	草津	比叡山	近江	守山
平成11年	近江	比叡山	草津	高島	草津	伊香	近江	河瀬
平成12年	草津	近江	伊香	比叡山	草津	伊香	比叡山	近江
平成13年	草津	近江	伊香	比叡山	比叡山	高島	八日市	能登川
平成14年	近江	比叡山	草津	伊香	比叡山	草津	近江	伊香
平成15年	近江	瀬田工	草津	比叡山	草津	比叡山	近江	伊香
平成16年	近江	比叡山	伊香	草津	草津	比叡山	近江	伊香
平成17年	伊香	瀬田工	比叡山	近江	草津	比叡山	近江	伊香
平成18年	近江	瀬田工	伊香	比叡山	伊香	草津	近江	高島
平成19年	近江	伊香	瀬田工	比叡山	草津	伊香	近江	比叡山
平成20年	伊香	近江	比叡山	草津	比叡山	草津	近江	伊香
平成21年	近江	伊香	瀬田工	比叡山	比叡山	近江	能登川	草津
平成22年	近江	比叡山	瀬田工	能登川	近江	草津	伊香	比叡山
平成23年	比叡山	近江	瀬田工	伊香	近江	草津	比叡山	能登川
平成24年	近江	近江	伊香	瀬田工	近江	草津	伊香	
平成25年	比叡山	近江	伊香	瀬田工	近江	伊香	比叡山	兄弟社
平成26年	近江	比叡山	瀬田工	伊香	比叡山	伊香	近江	
平成27年	近江	比叡山	瀬田工	伊香	比叡山	近江	伊香	合同
平成28年	比叡山	近江	瀬田工	伊香	比叡山	近江	伊香	膳所
平成29年	比叡山	近江	瀬田工		比叡山	合同	膳所	
平成30年	近江	瀬田工	比叡山	伊香	比叡山	綾羽	合同	伊香
令和元年	比叡山	近江	瀬田工	伊香	比叡山	伊香	綾羽	能登川
令和2年	比叡山	近江	瀬田工	伊香	比叡山	伊香	合同	綾羽
令和3年								



秋季大会 栄光の記録 個人試合

	1年段外	1年有段	2年段外	2年有段						
昭和55年	白井(比)	杉山(比)	森川(比)	宇田(伊)						
昭和56年	藤原(高)	今藤(比)	村田(瀬)	杉山(比)						
昭和57年	北川(長商)	内田(比)	高岸(長農)	今藤(比)						
昭和58年	西谷(比)	西村(比)	吉沢(愛)	小林(比)						
昭和59年	広部(伊)	朝比奈(比)	野田(八工)	内貴(比)					女子の部	
昭和60年	夏原(愛)	西堀(比)	磯貝(近)	小野(比)				中嶋(比)		
昭和61年	前田(伊)	高橋(高)	石原(近)	吉川(高)				足田(彦東)		

	選手権	段外の部									-48kg級	-52kg級	-56kg級	-61kg級	-66kg級	-72kg級	+72kg級
昭和62年	生駒(近)										森(高)	朝比奈(比)	伊吹(伊吹)	坂田(比)	後藤(高)	山口(高)	該当者なし
昭和63年	小権尾(比)										松本(草東)	岩佐(高)	福田(守)	田中(比)	鈴木(近)	山口(高)	桐畑(玉)
平成元年	杉本(比)										今宿(愛)	古川(石)	瀧口(高)	植村(玉)	吉川(八日)	横田(草)	桐畑(玉)
平成2年	林(草)	西田(彦東)									木村(水)	青木(比)	瀧口(高)	鶴飼(水)	吉川(八日)	該当者なし	矢野(伊)
平成3年	芳森信(近)	秋田(瀬)									岩田(比)	内田(石)	福田(守)	柴原(守)	坂下(草)	小谷(草)	矢野(伊)
平成4年	早川(近)	井上(堅)									松尾(八日)	山田(八日)	杉江(比)	吉田(比)	坂下(草)	中原(伊)	澤井(高)
平成5年	山田(近)	豊田(石)									際田(草)	高橋(草)	杉江(比)	吉田(比)	吉田(比)	中原(伊)	澤井(高)
平成6年	大坪(草)	小川(長商)									際田(草)	高橋(草)	岡田(比)	伊藤(伊)	吉田(比)	福沢(草)	今村(草)
平成7年	西川(近)	廣瀬(高)									藤木(比)	服部(伊)	岡田(比)	伊藤(伊)	吉田(比)	福沢(草)	今村(草)
平成8年	芳森向(近)	白石(高)									藤木(比)	酒井(伊)	村路(近)	藤村(草)	中澤(伊)	東野(伊)	阿部(比)

	選手権	段外の部																
平成9年	中島(草)	奥村(石部)									山本(八日)	谷(比)	増田(近)	磯谷(草)	東野(伊)	該当者なし	該当者なし	
平成10年	平田(比)	森(長北星)									大伴(草)	際田(草)	松尾(草)	山中(草)	阿久根(草)	該当者なし	佐野(安)	
平成11年	米富(比)	磯谷(高)									大伴(草)	明光(比)	山中(草)	松尾(草)	鳥居(草)	平瀬(草)	吉田(伊)	
平成12年	松原(近)	久保(草)									山田(八日)	米富(比)	米澤(伊)	山口(近)	平瀬(草)	鳥居(草)	馬籠(草)	
平成13年	藤川(比)	北川(瀬)									大崎(比)	米富(比)	梶村(比)	藤田(高)	久澤(高)	上野(八日)	岸(近)	
平成14年	鈴木(近)	脇坂(北星)									浅香(草)	大崎(比)	藤川(比)	梅本(近)	西村(水東)	門脇(草)	岸(近)	
平成15年	松宮(比)	木村(草)									村岸(河)	浅香(草)	藤川(比)	車谷(比)	梅本(近)	門脇(草)	甲斐(草)	

	選手権	段外の部	-60kg級	-66kg級	-73kg級	-81kg級	-90kg級	-100kg級	+100kg級	-48kg級	-52kg級	-57kg級	-63kg級	-70kg級	-78kg級	+78kg級
平成16年	松宮(比)	辻中(玉)	岡田(比)	村野(瀬)	山本(瀬)	世古(比)	伊藤(瀬)	中田(近)	清水(伊)	石田(比)	森内(能)	高谷(近)	香月(草)	教野(伊)	坂下(水東)	甲斐(草)
平成17年		藤森(北星)	岡崎(比)	中島(近)	平川(伊)	宮崎(近)	竹腰(伊)	谷村(瀬)	山田(近)	森下(近)	広川(草)	田中(比)	田中(伊)	坂井(伊)	坂下(水東)	岸(彦工)
平成18年		福田(安)	小森(瀬)	木村(近)	吉川(近)	鈴木(中)	中島(近)	赤坂(近)	山下(近)	西澤(草)	田口(伊)	村川(近)	前田(高)	坂井(伊)	堀(近)	大菅(草)
平成19年		平井(伊)	杉本(近)	加藤(近)	木村(近)	三家(近)	丸田(近)	伊勢村(比)	脇阪(伊)	西澤(草)	田口(伊)	田中(比)	森(伊)	堀(近)	大菅(草)	小川(草)
平成20年		屋敷(玉)	西村(近)	深美(伊)	奥田(近)	藤本(近)	日比野(比)	斎藤(比)	脇阪(伊)	遠藤(比)	中西(比)	田中(比)	岡本(比)	西林(草)	坂下(水東)	近藤(伊)
平成21年		西川(能)	澤村(近)	深美(伊)	太田(近)	藤本(近)	安田(近)	斎藤(比)	竹村(近)	森下(伊)	中西(比)	岡本(伊)	岡本(比)	福島(近)	坂下(水東)	該当者なし
平成22年		小寺(綾)	沖(瀬工)	平良(比)	松苗(比)	苗村(近)	吉川(近)	清水(比)	渡部(近)	森下(伊)	岡本(伊)	峰本(近)	田中(近)	該当者なし	福島(近)	小島(草)
平成23年		今村(能)	野村(近)	沖(瀬工)	松谷(瀬)	北浦(比)	橋本(近)	花木(近)	浅野(近)	安本(比)	神戸(近)	千代(近)	田中(近)	勝見(近)	岩本(草)	小島(草)
平成24年		根来(比)	中原(比)	野村(近)	村田(近)	山本(瀬)	高橋(近)	花木(近)	浅野(近)	真鍋(草)	佐野(比)	黒田(伊)	中島(伊)	伊藤(近)	志賀(近)	該当者なし
平成25年		田原(草)	杉本(比)	西村(比)	大村(比)	西山(比)	金本(比)	長田(綾)	横田(近)	田尾(近)	中島(伊)	福崎(比)	中島(伊)	森田(近)	清水(伊)	古賀(近)
平成26年		寺川(兄)	杉本(比)	山田(比)	朝比奈(近)	橋本(近)	赤坂(近)	岡本(近)	横田(近)	千代(近)	西口(比)	福崎(比)	伊藤(比)	森田(近)	清水(伊)	石田(伊)
平成27年		杉本(比)	福田(比)	堤(近)	朝比奈(近)	山下(近)	西岡(比)	山口(近)	北川(比)	上田(伊)	瀧川(比)	西口(比)	伊藤(比)	田中(近)	杉野(比)	沢田(伊)
平成28年		阪本(甲斐)	福田(比)	水戸(比)	永谷(比)	毛利(比)	西岡(比)	中村(近)	牧本(近)	芳田(比)	瀧川(比)	久米(近)	藤田(近)	栗師山(比)	杉野(比)	—
平成29年		中村(兄)	福田(比)	松川(比)	佐藤(瀬)	日野山(比)	西本(近)	大城(比)	加藤(近)	野崎(比)	芳田(比)	川上(比)	足達(比)	栗師山(比)	—	吉山(比)
平成30年		東村(高)	福田(比)	伊藤(近)	倉橋(比)	大迫(瀬)	桐畑(近)	千代露(近)	土田(近)	野崎(比)	足立(比)	南平(比)	川上(比)	里内(綾)	木内(綾)	吉山(比)
令和元年		松尾(高)	西村(瀬)	吉國(近)	本田(比)	森田(近)	北川(近)	城(近)	平野(近)	高嵩(伊)	南平(比)	島林(比)	尾崎(比)	川嶋(比)	杉村(比)	會田(兄)
令和2年		澤田(近)	田村(比)	秋田(比)	西本(近)	秋田(比)	竹田(近)	北川(近)	平野(近)	吉村(比)	川上(比)	莊司(比)	尾崎(比)	川嶋(比)	杉村(比)	—
令和3年																



令和3年(2021年)柔道専門部競技役員

専門部長	池田 健一 (近江兄弟社高校 校長)
顧問	平瀬 憲昌 (草津) 大橋 成年 (伊香)
競技委員長	林 正樹 (近江兄弟社)
同副委員長	三谷 忠義 (高島) 生駒 有史 (近江)
総務委員長	今井 達将 (綾羽)
総務部 進行	今井 達将 (綾羽)
記録	伴 禎 (高島) 山根 良行 (兄弟社) 藤井 恒太 (綾羽)
式典	渡邊 澄子 (比叡山) 坂下 和子 (甲南高養) 坂下 星満 (能登川)
広報	今井 達将 (綾羽) 藤井 恒太 (綾羽)
審判長	平瀬 憲昌 (草津)
副審判長	坂下 覚 (膳所)
審判部 審判員	南 睦志 (瀬田工) 上田 健二 (伊香) 大橋 成年 (伊香)
	三谷 忠義 (高島) 生駒 有史 (近江) 林 正樹 (兄弟社)
	小松 広典 (綾羽) 米富 和郎 (比叡山) 米富 芳美 (比叡山)
	向江村和也 (近江) 坂下 福満 (安曇川) 脇阪 博也 (伊香)
	舟崎 裕輝 (比叡山) 清水 美緒 (伊香) 中体連審判員
会場係長	庄司 達彦 (比叡山)
会場係 第1会場	◎庄司 達彦 (比叡山) 中村 貞司 (兄弟社) 西川 葉月 (綾羽)
第2会場	◎近藤 麻生 (能登川) 久保 尚人 (能登川) 木越麻理香 (瀬田工業)
救護係 救護係	滋賀県柔道整復師会
計量係 男子	小松 広典 (綾羽) 米富 和郎 (比叡山) 向江村和也 (近江)
	脇阪 博也 (伊香)
女子	米富 芳美 (比叡山) 坂下 星満 (能登川) 坂下 福満 (安曇川)
	渡邊 澄子 (比叡山)
新型コロナ感染対策担当者	三谷 忠義 (高島)

2021年度 滋賀県高等学校秋季体育大会 柔道競技 実施要項

- ◆会場 滋賀県立武道館（大津市におの浜四丁目2-15） TEL077-521-8311
- ◆開催日 2021年10月28日（木）～10月29日（金）
- ◆試合
1. 男女団体の部
 2. 男子個人の部
7階級(60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級)、段外の部
 - 女子個人の部
7階級(48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級)
- ◆日程
- 〈1日目〉
- | | | | | |
|-----------|-------|---|-------|----------|
| 予備計量 | | ～ | 9:00 | |
| 本計量 | 9:00 | ～ | 9:30 | *計量は1回のみ |
| 全体会議、役員会議 | 9:45 | ～ | 10:20 | |
| 諸連絡 | 10:20 | ～ | | |
- 男女団体試合
- 〈2日目〉
- | | | | | |
|-----------|------|---|------|----------|
| 予備計量 | | ～ | 9:00 | |
| 本計量 | 9:00 | ～ | 9:30 | *計量は1回のみ |
| 全体会議、役員会議 | 9:30 | ～ | 9:50 | |
| 諸連絡 | 9:50 | ～ | | |
- 男女個人試合
- ◆試合規定
1. 国際柔道連盟試合審判規定によっておこなう。(2018～)新規定
 2. 試合時間は団体・個人試合とも3分とする。
- 〈団体試合〉
- ①試合の勝敗判定基準は「技有」「僅差」以上とする。
* 僅差:「指導差が2」とする。
* 一本勝ち=反則勝ち > 技有 > 僅差
 - ②チームの勝敗については要覧の別ページに定める。
 - ③同点、同内容の場合代表戦を行う。大将戦終了3分後におこなう。
* 代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出しておこなう。
* 代表戦で得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦をおこなう。
- 〈個人試合〉
- ①試合の勝敗判定基準は「技有」「僅差」以上とする。
* 僅差:「指導差が2」とする。
 - ②試合終了時点で「技のスコア」が同等な場合、時間無制限のゴールデンスコアをおこなう。
 - ③累積による「同時反則負け等」の場合のみ、時間無制限のゴールデンスコアによって勝者を決定する。
- ◆試合方法
- 〈団体試合〉
1. 男女ともトーナメント戦によって優勝を決定するものとする。
 2. 試合は1校1チームの男子は5名、女子は3名の点取り試合とする。
* 試合ごとのオーダー変更は認めない。
 3. 男女ともオーダーはフリーとする。
- 〈個人試合〉
1. 男子は7階級と段外の部、女子の7階級とする。
 2. トーナメント戦によって優勝を決定するものとする。
 3. ただし、3人の場合、リーグ戦をおこなう。
* 試合順は、①1-2. ②2-3. ③1-3とする。シード順より抽選をおこなう。
 4. 段外の部には、申込時までには講道館柔道昇段審査に合格していない者とする。

- ◆シード 春季大会結果より、1、2位：固定、3、4位：抽選、5、6位：抽選とする。
- ◆参加資格
 1. 滋賀県高等学校体育連盟柔道専門部に加盟している高等学校生徒であること。
また、平成16年4月2日以降に生まれた者とする。
 2. 転校後、6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)
但し、一家転住等やむを得ない場合、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があれば、
この限りではない。
 3. 同一学年での出場は1回限りとする。
 4. 出場選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を受けた者であること。
- ◆選手変更
 1. 大会1日目の午前 9時までに大会本部まで申し出ること。
 2. 団体戦の選手変更は、男女とも1名を限度とする。
* 変更して登録を抹消された選手は個人戦に出場できない。
 3. 個人試合での選手変更は認めない。
- ◆計 量
 1. 男子は上半身は裸、ハーフパンツ着用とする。(柔道着の下穿きは着用不可)
 2. 女子はTシャツ、ショートパンツとする。(国際ルールに準じた服装とする)
- ◆表 彰
 1. 団体競技 男女各チーム1位から3位までの入賞チームを表彰する。
 2. 個人競技 男女各階級の1位から3位までの入賞者を表彰する。
- ◆出場権等
(付記)
 1. 男女個人各階級3位までの選手には近畿高校柔道体重別選手権大会の出場権を与える。
 2. 段外の部の優秀者には、初段の申請の資格を与える。
 3. 新人大会のシード権を与える。
 4. 次年度、春季大会のシード権を与える。(1、2位：固定、3、4位：抽選、5、6位：抽選。)

※近畿高校柔道体重別選手権大会(二次予選)

出場枠が充足していない階級において実施する。

- ①本県予選に出場したものに限る。
- ②出場した階級の前後1階級に限る

◆申込締切

10月14日(木)の顧問会議開始13時30分までとする
10月8日(金)までにE-mailで申込を済ませておくこと
E-mail tatsumasa.imai@ayaha.ed.jp (綾羽高校：今井)

◆その 他

- ・選手、監督、大会役員等、すべての者は武道館入場時に大会2週間前からの「健康観察記録表」を提示し、「大会参加に向けてのチェックシート及び同意書」を提出すること。
<会場準備>比叡山、綾羽、伊香高校でお願いします。
- <後始末>全校、全生徒でおこないます。
- ・会場は大切に使用し、ゴミ・破損等のないように心がけてください。
- ・貴重品の管理は、各校、各自でしっかりして下さい。
- ・試合選手以外のマスク着用、試合中のマスクの管理(ビニール袋持参)、黙食、手指消毒などの感染対策を徹底してください。

タイムテーブル

	第1試合場	第2試合場	備 考
1 日 目	開 館： 8：30 玄関：検温手指消毒 2階：チェックシート・同意書提出 会場準備・会場消毒 受 付： 9：30 予備計量： ～ 9：00 本 計 量： 9：00 ～ 9：30 諸 連 絡： 10：20		* 本計量は1回のみ 試合時間：3分 試合時間：3分
	女子団体戦		
	女子決勝		
	男子団体戦		
	男子1回戦(2試合)	男子1回戦(2試合)	
	男子準決勝①	男子準決勝②	
	男子決勝		
	諸 連 絡		
2 日 目	開 館： 8：30 玄関：検温手指消毒 2階：チェックシート提出 会場準備・会場消毒 受 付： 9：30 予備計量： ～ 9：00 本 計 量： 9：00 ～ 9：30 諸 連 絡： 9：50		* 本計量は1回のみ 試合時間：3分 48kg・70kg級はリーグ戦 試合時間：3分
	女子個人戦 ～準決勝		
	48・70	57・63	
	女子個人決勝(4)		
	52・57・63・78超		
	男子個人戦 1回戦～準々決勝		
	段外・60・73・90	66・81・100	
	男子個人準決勝(16)		
	段外・60・66・73・81・90・100・100超 各階級① 段外・60・66・73・81・90・100・100超 各階級②		
	男子個人決勝(8)		
段外・60・66・73・81・90・100・100超			
諸 連 絡		(数字)は試合数	

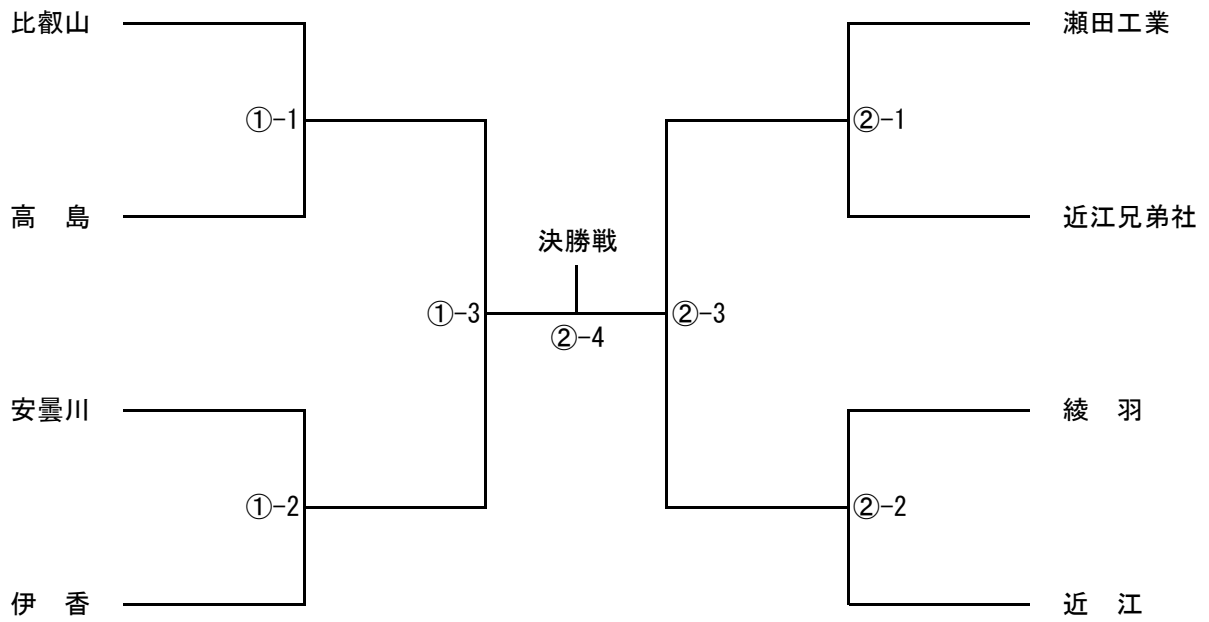
* 競技の進行上、試合場を変更することがあります。

* 昼食休憩は両日とも12：00をメドに30分程度とる予定です。放送等で指示します。

* 団体個人とも3位決定戦は行いません。

* 試合進行については、審判部と総務部で協議の上、当日変更する場合があります。

男子団体戦 トーナメント試合表



男子団体決勝戦

代	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒		審判員	審判員	審判員
						(赤)	審判員	審判員	審判員
						高校			
						(白)			
							先生	先生	先生
						高校			

女子団体戦 トーナメント試合表

決勝戦

比叡山

綾羽

女子団体決勝戦

代	大将		中堅		先鋒		審判員	審判員	審判員			
						(赤)						
						高校						
						(白)						
						高校	先生	先生	先生			

男子団体

学校名		比叡山				高等学校
監督名		米富 和郎				
	氏名	学年	段位	身長	体重	
先鋒	秋田 ハル	2	初	166	81	
次鋒	足達 俊亮	2	初	165	73	
中堅	高森 和	2	初	167	66	
副将	吉田 京太	1	初	170	95	
大将	古川 葉結	2	初	160	60	
補欠	福田 大和	1	初	160	55	

学校名		瀬田工業				高等学校
監督名		南 睦志				
	氏名	学年	段位	身長	体重	
先鋒	山本 永遠	2	初	168	66	
次鋒	高山 純	2	初	170	81	
中堅	西村 真	2	初	173	75	
副将	森本聡二郎	2	初	182	90	
大将	中西 海斗	2	初	166	66	
補欠						

学校名		綾羽				高等学校
監督名		小松 広典				
	氏名	学年	段位	身長	体重	
先鋒	田中 経時	1	初	170	60	
次鋒	大川 太陽	2	初	165	76	
中堅	田中 柊輔	2	初	168	90	
副将	小松 惺	1	初	162	73	
大将	西村 柚琉	1	初	170	104	
補欠	山下ペドロ	2	初	168	76	

学校名		高島				高等学校
監督名		三谷 忠義				
	氏名	学年	段位	身長	体重	
先鋒	川島 颯仁	1		168	58	
次鋒	三谷 一主	1		170	67	
中堅	小川 良也	1		158	47	
副将	小寺 慶心	1		180	74	
大将	志村 将城	1	初	170	63	
補欠						

学校名		近江				高等学校
監督名		向江村和也				
	氏名	学年	段位	身長	体重	
先鋒	萩原 大我	2	初	180	90	
次鋒	多和田凱十	2	初	175	90	
中堅	古賀 崇也	1	初	178	100	
副将	奥村 麗翔	2	初	180	100	
大将	服部 天功	1	初	175	120	
補欠	津曲 海音	1	初	177	135	

学校名		伊香				高等学校
監督名		脇阪 博也				
	氏名	学年	段位	身長	体重	
先鋒	川上 虎迫	1	初	170	80	
次鋒	中川 夢大	1	初	179	94	
中堅	村井 源太	1	初	170	65	
副将	島内 康希	2	初	175	73	
大将	中島怜央斗	1	初	168	77	
補欠	高嶋 大雅	1	初	170	69	

学校名		近江兄弟社				高等学校
監督名		林 正樹				
	氏名	学年	段位	身長	体重	
先鋒	林 優樹	2	初	170	60	
次鋒	三浦 大輝	1	初	172	66	
中堅	川口 幸輝	2	初	160	58	
副将	村地 洋輔	1	初	173	73	
大将	熊田 匠	1	初	170	100	
補欠						

学校名		安曇川				高等学校
監督名		坂下 福満				
	氏名	学年	段位	身長	体重	
先鋒	中川三那都	1	初	169	60	
次鋒	三原 大和	1		160	54	
中堅	東村 直樹	2		165	55	
副将	山口慧太郎	1	初	172	60	
大将	上田 匠光	1	初	164	100	
補欠						

女子団体

学校名		比叡山		高等学校	
監督名		米富 和郎			
	氏名	学年	段位	身長	体重
先鋒	篠原 三奈	2	初	160	59
中堅	向尾 美妃	1	初	163	63
大将	前田 凜	1	初	167	70
補欠	本田 万結	2	初	166	70

学校名		綾羽		高等学校	
監督名		今井 達将			
	氏名	学年	段位	身長	体重
先鋒	上久保綾乃	2	初	160	55
中堅	山本 玲維	1	初	160	63
大将	岩佐 夏鈴	1	初	150	80
補欠					

男子段外の部

1 川島 颯仁 (高島)		笠原 秀穂 (近江)	6
2 三原 大和 (安曇川)		小寺 慶心 (高島)	7
3 竹村 健吾 (近江)		東村 直樹 (安曇川)	8
4 三谷 一主 (高島)		小川 良也 (高島)	9
5 小幡 晏志 (近江)			

男子60kg級

1 福田 大和 (比叡山)		林 優樹 (近江兄弟社)	6
2 長谷川 矢穂 (近江)		田中 経時 (綾羽)	7
3 中川三那都 (安曇川)		山口慧太郎 (安曇川)	8
4 小松 颯太 (比叡山)		足立 悠晟 (比叡山)	9
5 川口 幸輝 (近江兄弟社)			

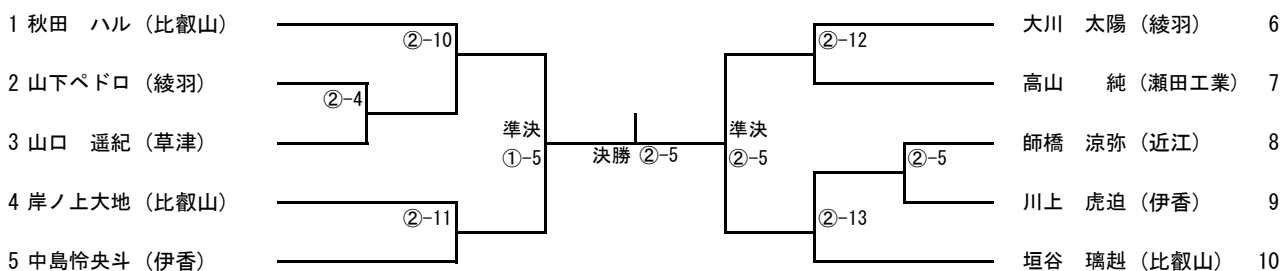
男子66kg級

1 高森 和 (比叡山)		山本 永遠 (瀬田工業)	6
2 桐畑 湊士 (近江)		中村 巴九 (比叡山)	7
3 志村 将城 (高島)		西野 大翼 (近江)	8
4 村井 源太 (伊香)		三浦 大輝 (近江兄弟社)	9
5 中西 海斗 (瀬田工業)		前田 竜吉 (近江)	10
		古川 葉結 (比叡山)	11

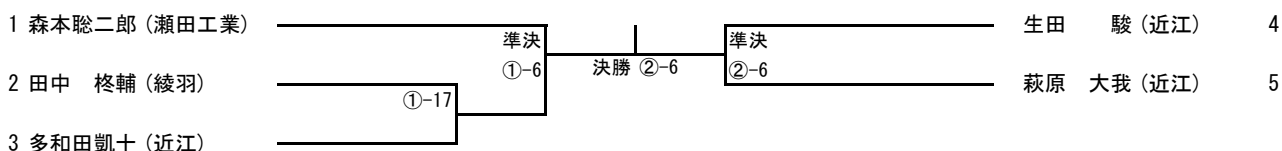
男子73kg級

1 足達 俊亮 (比叡山)		山口 葉瑠 (近江)	6
2 小松 惺 (綾羽)		上門 洋輝 (比叡山)	7
3 多賀 王亮 (近江)		高尾 大雅 (伊香)	8
4 島内 康希 (伊香)		村地 洋輔 (近江兄弟社)	9
5 吉岡 涉真 (近江)		西村 真 (瀬田工業)	10

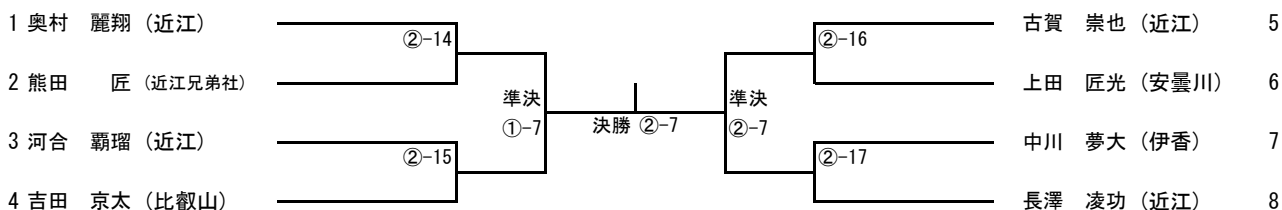
男子81kg級



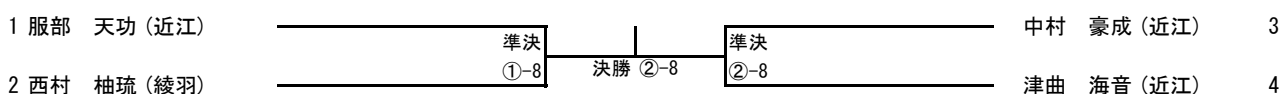
男子90kg級



男子100kg級



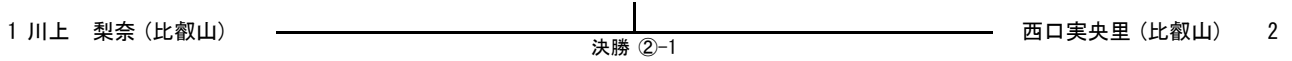
男子100kg超級



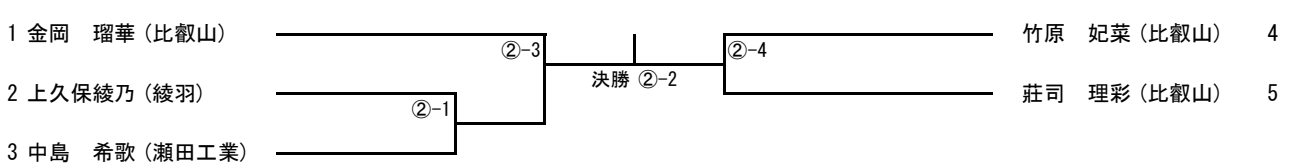
女子48kg級

	1	2	3	勝数	負数	順位
1 足立 美翔 (比叡山)		①-1	①-5			
2 西口彩央里 (比叡山)			①-3			
3 吉村 雪羽 (比叡山)						

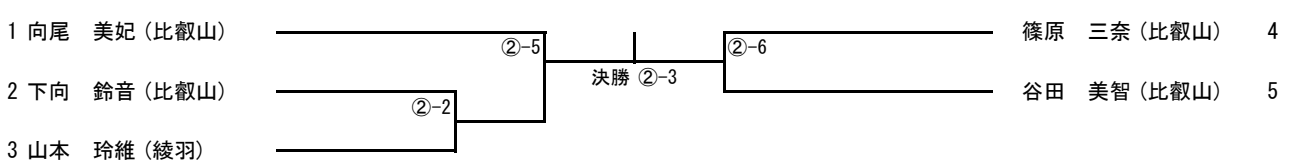
女子52kg級



女子57kg級



女子63kg級



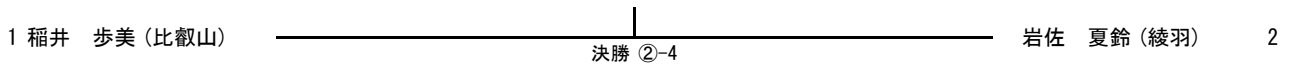
女子70kg級

	1	2	3	勝数	負数	順位
1 前田 凜 (比叡山)		①-2	①-6			
2 小椎尾和花 (比叡山)			①-4			
3 金田 美優 (比叡山)						

女子78kg級



女子78kg超級



大会参加者に望む

1. 滋賀県高等学校柔道大会は、学校における教育活動の一貫として行われるもので、単に勝敗のみを争うものではない。このことは大会に対する滋賀県高体連柔道部創立以来の一貫した姿勢で、たえずこの具体化を検討し、望ましい大会のあり方を追求して今日に至っている。大会参加の諸君は、滋賀県高体連柔道部のこの基本姿勢を理解されるとともに、下記の事項に留意し、高校生にふさわしい理想の大会の実現に協力を願う。
 - (1) 大会を開催する地元のご苦勞に感謝し、会場を汚したり破損したりすることのないよう注意してもらいたい。
 - (2) 会場までの列車内でも街頭でも高校生として、また柔道選手としての誇りを忘れないでほしい。
 - (3) 勝負を決するための積極的な試合展開をしてほしい。勝負を決しようとする試合は、その意義を失い、技術の進歩もあり得ない。真摯敢闘、自己の最善を尽くしてこそ観衆に感動を与え、選手自身にとっても無上の満足感を与えるものである。
 - (4) 柔道着は、出場前に十分点検し、規定にふれることのないようにしておくこと。また、髭、頭髪などは、不快な感じや異様な感じを与えないように注意すること。

監督に望む

- (1) 大会会場ばかりでなく、会場までの途上にわたって選手を監督・指導されたい。なお、応援の保護者、関係者に対してもすべての責任を負う。
- (2) 選手に対する指導・助言は節度あるものとし、試合の前後に選手に対する指導・助言は十分に行い、試合中は選手の意思を尊重するようにされたい。
- (3) 大将戦においては、控え選手を全員、正座させるように指導されたい。
- (4) なお、大会中の服装は審判員の服装に準ずることが望ましい。

応援者に望む

- (1) 応援は選手の志気を高めるものであるが、審判員の適正な判断と大会運営の妨げにならないように節度あるものにしていただきたい。
- (2) 審判員や選手に対する暴言や品位を傷つけるような言動は絶対にしないでいただきたい。
- (3) 大会本部席前での応援は、大会運営上の支障になるので、指示された場所です。

県立武道館 使用上の注意

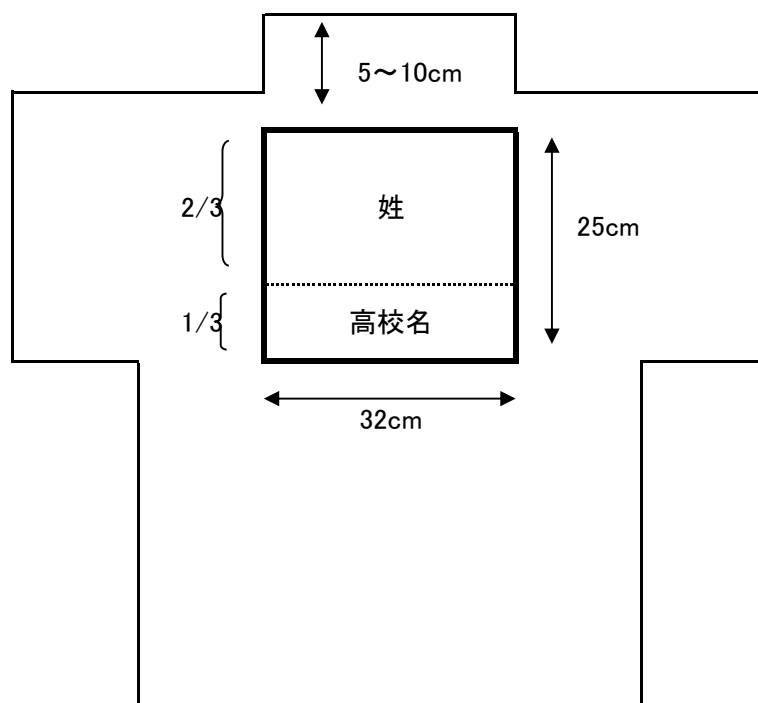
- 1 会場準備に当たっている学校は9時に集合して下さい。
- 2 後始末は全員で行います。
- 3 靴は各自ビニール袋に入れて更衣場所へ持っていくこと。
- 4 傘は玄関に間違わないように置いておくこと。会場内に持ち込まない。
- 5 館内においては高校生は武道館のスリッパを使用しない。
- 6 更衣は男子は団体リーグ戦の会場上のギャラリーで、女子は指定の更衣室で行うこと。
- 7 使用場所は柔道エリアに限る。他会場やロビーなどに行かない。
- 8 貴重品は各校で責任を持って保管すること。万一紛失しても専門部では責任をとらない。
- 9 各校で出したゴミは、各校・各自で責任を持って持ち帰ること。
- 10 会場へ入場は団体戦は出場校のみ、個人戦においては次に出場予定の5名までとする。その他の選手はギャラリーで観戦すること。会場が狭いので、試合がスムーズに運べるように、特にこの点を守るようお願いしたい。
- 11 本部席前(正面)は通ったり、座ったりしないようにする。
- 12 便所の下駄は次に使う人のことを考えて、きちんとそろえておくこと。
- 13 その他分からない点が生じたら、顧問の先生か、大会本部まで申し出ること。

◎武道館を美しく、大切に使うために、以上のことをしっかり守って下さい。

高校柔道大会の服装について

ゼッケン

- 1 大会に出場する選手は、必ず規定の要項にしたがってゼッケンを柔道衣の背中に縫いつけてなければならない。
- 2 布地は晒太綾(さらしふとあや)を使用すること。
- 3 サイズは横32cm、縦25cmとする。
- 4 姓は上側2/3、校名は下側1/3の部分に、横書きで男子は黒字、女子は赤字で書くこと。
- 5 縫いつけ方法については下記の図を参照すること。※強い糸で縫いつけること。
- 6 ただし、当分の間は従来の大きさでもよい。



女子 試合者は上衣の下に、相当の長さのある、次のいずれかを着用すること。

- 1: アンダーシャツは、白色無地、丸首のTシャツまたレオタードであること
- 2: アンダーパンツは膝までの丈であること

男子

アンダーパンツは膝までの丈であること

ゼッケンのない選手は、試合に出場できない。

勝ちに不思議の勝ちあり、

負けに不思議の負けなし

勝負は時の運とはいうものの、ひとつだけはっきり言えることがある。

偶然に勝つことはあっても、偶然に負けることはない。

失敗の裏には、必ず落ち度があるはずなのだ。

「たまたま運がよかった」というのも、もしかすると、運を味方につけるような努力をしていたのかもしれないし、知らないうちに徳を積んでいたのかもしれない。だとしたら、運の善し悪しを決めるのは、日々の過ごし方の如何によるのだろう。

勝った負けたで一喜一憂する必要はない。

そこから何を学びとるのが問題なのだ。

何をもって成功なのか失敗なのかは、人それぞれ。

ただし、二度と同じ目には遭いたくないと思うことがあるなら、それは失敗に学ぶべきではないか。

ちょっとした手抜きが勝敗を分ける。

先手をうった準備と努力をしていれば、危機を察知する直感力は冴えてくる。